

### 和蔵

所在地：草津市大路1丁目1番1号エルティ932 2F

TEL：077-565-4700

営業時間：10:00～20:00

代表  
増倉 昭二さん



今回ご紹介するのは呉服屋『和蔵』様です。店主の増倉さんは、18歳から56年にわたり呉服業に携わり、草津にお店を構えて22年になります。シミ落とし、染め替え、ほつれ直しと着物に関することは何でもお任せ、多くの方が「着る“物”」から「置“き”物」となってしまう着物をもっと気軽に着てほしい、という思いから来店していただきやすい店作りをされています。

増倉さんはNPO法人「きものを着る習慣をつくる協議会」の専務理事もされていて、今の時代に着物を普及させるためには、店舗だけで取り組むのは難しく、店舗以外での活動が重要となるため、これまで様々なイベントに取り組まれてきました。



例えば、着物を着るきっかけになるような帯の結び方や着付けの体験教室のほか、年齢を問わず参加者の皆さんにタンスに眠る振袖やレンタル振袖を着て楽しんでもらう「大人の振袖パーティ」があります。年を重ねても振袖を楽しまれる参加者や事情があってこれまで振袖が着られなかった参加者など、各々の思いを持って参加してくださったそうです。また、夏に浴衣を着てびわ湖をミシガンで周航する「ゆかたdeミシガン」というイベントでは、琵琶湖汽船様のご協力により、特別価格で乗船することができ、毎年多くの方が家族や友人と参加されています。今は新

型コロナウイルスの感染拡大を受け、新しいイベントができない状態が続いていますが、店主の増倉さんはコロナが収まった時に備えて、数々のイベント計画を温めておられます。

また、東日本大震災で被災した女性らが着物を再生して作った手芸品の展示即売会「きもので復興支援」をエルティ932でたびたび開催しておられます。これは、増倉さんがNPO法人の仲間と被災地を訪れたことがきっかけとなった



そうです。NHKや新聞で取り上げられたおかげで、多くの方が着物の寄付にも訪れ、収益金と集まった着物は全て被災地へ送られました。「草津から着物を寄付」し、「再生したアイテムを購入」して、「収益金と新たな寄付」を送るという支援のループとなりました。

多くの活動をされている増倉さんに、草津に店舗を構えようと思われた理由を最後にお伺いしました。最初に仕事に就かれた姫路の呉服屋の息子さんが、草津の呉服屋に勤めておられ、その方から「草津は良いところ。」と聞いていたのがきっかけだそうです。実際住んでみて「その意味がわかったよ。」とおっしゃる増倉さんの顔は、草津への愛であふれていました。増倉さんのお人柄に触れるだけで元気が湧いてきますので、みなさんも是非お店に足を運んでみてください。